

《いじめ解消事例集》①

《いじめ・不登校》の問題を抱える子どもさんに対し、どうしても私たちは『原因究明』の視点で考えがちです。その際、どのような質問をしますか？

「なぜ？」ではないでしょうか？

この原因究明の質問、製品の品質管理などの場合は有効です。しかし、同じように人間関係に用いると、尋問になり「人格否定」になりがちです。

遅刻や忘れ物を繰り返す子どもがいるとします。その子に「なぜ、遅刻をするの？」と聞いてみてください。そして、その子の答えに対して、さらに「なぜ？ どうして？」と質問を重ねてください。次第に、重苦しくなり、子どもは答えられなくなってしまいます。この例からわかることは、「なぜ？」の質問は、尋問になるということです。そして、尋問は詰問となり、その子の心に『傷つき体験』として残ります。

いじめられる側の子どもも同じではないでしょうか？

- ・言い返せない自分が悪い。
- ・黙っていた自分が悪い。
- ・無力の自分が悪い。

このように自分で自分を責めてしまう結果を招くのは、親としては本意ではないでしょうか。この結果、ますます「いじめられる子ども」になってしまいます。

☆否定の質問は人格否定。否定は否定の連鎖を生む。

このようにご理解ください。

いじめを受ける子どもに対して、状況を把握したい場合、「何があったの？」の質問です。そして、被害者・加害者という視点はいったん脇に置いておいてください。なぜならば、被害者・加害者という視点からは、生産的な解決の糸口は見えにくいからです。我慢しなさい、泣き寝入りしなさいとお伝えしているではありません。

「解決のために、原因究明はいったん脇に置いておく」ことが必要です。これは、長年カウンセリングに携わってきた自分の経験からも言えることです。

そして、大切なことは、その場面での気持ちをじっくりと聴き、マイナスの気持ちを十分に吐き出してもらうことです。その後、

☆「どうなっていたら良いの？」

このように本人の願望を聴いてください。

次の事例は、『いじめが原因で、体の不調を訴える中学生（Aさん）』との会話です。

佐藤：朝起きるのが辛くてお腹が痛いんだよね。気になること、他に何かありませんか？

相手：友だちから無視されている。いじめられている感じがする。

佐藤：無視されて、いじめられている感じがするのですね。その時を思い出すと、どのような気持ちですか？

相手：辛い、みじめ…。

（自分の感情について、時間をかけて会話をします）

佐藤：気持ち、かなりスッキリとしましたか。良かったです。今後、どうなったら良いですか？

相手：クラスを替えて欲しいんです。

佐藤：なるほど、クラスを替えて欲しいのですね。もし、それができたら、今と異なり、何が得られるのですか？

相手：隣のクラスは、みんな話しやすい雰囲気、誰とでも仲良くなれそう。

佐藤：なるほど♪話しやすい雰囲気、誰とでも仲良くなれそうなんですね。では、そのクラスだと、何が得られるのですか？

相手：自分のことをわかってもらえる友だちができる。好かれる自分になれそう。

佐藤：そうなんですね。わかってもらえる友だち、好かれる自分。ということは…。
〇〇さんの一番の願いは何ですか？

相手：……親友が欲しい。

佐藤：親友ですね。じゃあ、親友ができた場面、イメージしてくださいね。どのような場面になっていますか？

相手：朝起きるのも普通に起きれて、学校に行くのも辛くなくなる。お腹の調子も良くなりそうな気がする。

佐藤：普通に起きれて、お腹の調子も良くなるんですね。もう少し、その場面、ドラマのように動かすことはできますか？ストーリーにすると、どんな感じ？
お友だちや先生は何をしてくれたんですか？ストーリーで考えてください。

（上手くいった場面の確認の会話）

佐藤：かなりいい感じの場面、物語になりましたよね。

ところで、あなた自身はその場面、何をしていたんですか？

相手：私はクラスメートが話しかけてくれるのを待っていました。自分から話すのは怖いんです。

佐藤：なるほど、待っていたんですね。それも良い方法ですよ。

ただ、今回、ここに起こしになったのは、〇〇さんがお母さんに自分の状況を、お話になったからですよ。自分から動いたとも言えませんか？

相手：ええ…。そうです。でも、お母さんとクラスメートは異なるから。

佐藤：そうですね。お母さんとクラスメートは異なりますよね。

では、今のクラスの話に戻ってもいいですか？

今のクラスの人たちから見ると、あなたはどのような人に見られていると思いますか？

相手：……。何も話さない暗い子。避けている子。

佐藤：暗い子、避けている子、なんですね。

相手：ええ…（涙ぐむ）

ここから先、どのような対応をしたでしょうか？

それは、座談会でのお楽しみ。